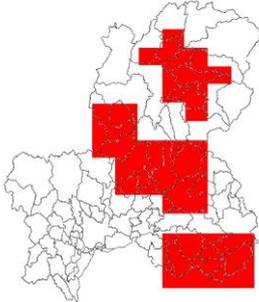


オケラ	<i>Atractylodes ovata</i> (Thunb.) DC.	絶滅危惧Ⅱ類
		キク科
選定理由	生育地と個体数が極めて少なくなっている。	写真(高橋弘)
形態の特徴	茎は高さ30-50cm、クモ毛が密生する。葉はやや長い葉柄があり、葉身は3-5深裂するか、単葉形、縁に不規則な細鋸歯があり、下面にはクモ毛がある。雌雄異株。頭花は直径2-2.5cm、茎や枝に頂生し、小花は筒状花のみ。総苞は長さ1.5-2cm。筒状花は白色あるいは淡紅色。	
生態的特徴	日当たりのよいやや乾いた草原や林縁に生育する。花期は9-10月。	 
分布状況	中国と朝鮮にも分布し、日本では本州、四国、九州に分布する。岐阜県では県北、県中央部、県東で見られる。	
減少要因	開発などによる生育地の破壊と過度の採取。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘